

生活

o-seikatsumen@asahi.com

地震・津波発生→自動で電源入り災害情報

緊急告知FMラジオ開発

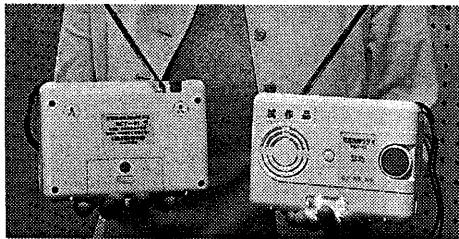
岡山のFM局とケーブルテレビ

地震や津波などの災害時に自動的に電源が入り、災害情報などを伝える緊急告知FMラジオを、エフエムくらしき(岡山県倉敷市白楽町)と倉敷ケーブルテレビ(同市西富井)が共同開発した。自治体を対象に来年3月ごろ発売する予定で、初年度は1万台の販売をめざす。

コミュニケーションFM局が出す遠隔操作の電波を受信すると電源が入り、大音量で放送が鳴

る。同時にライトも点灯するので、聴覚障害がある人への告知にも有効という。

半径約20キロまでとされるコミュニケーションFMの電波が届かない地域では、ケーブルテレビとラジオをコードでつなげば利用できる。防災行政無線や屋外放送に比べ、コストが安く、確実に情報を伝えられる。



角が丸みを帯びた優しいデザイン。電波をキャッチすると、電源が入るとともにライトもつく＝岡山県倉敷市内で

ラジオは充電式なので停電時にも使え、重さは持ち運びできる250g。倉敷市が来年度からの導入を検討しており、県外の自治体やコミュニケーションFM局からも問い合わせがある。FM局内に置く装置は無償で提供するが、ラジオは約8千円で販売する予定。

ラジオやテレビの緊急告知放送は、NHKが対応機種に電波をとばして自動的に電源を起動させているが、あまり普及していない。静岡県防災政策室によると、同県は地元メーカーが開発した自動的に電源が入るラジオを89年と95年に関係機関に配り、NHKの災害情報を流したがる採算が合わず、販売中止になったという。

問い合わせはエフエムくらしき(086・430・0600)へ。(村田淳)